

[JP] アンプリファイドコントローラー リリースパック

アンプリファイドコントローラー リリースパック 2016-05-20 の構成はつぎのとおりです。

- LA Network Manager (以降、LA NWM と表記) 2.4.3(.24)
- LA4 / LA8 ファームウェア 2.7.0(.15) と LA4X / LA12X ファームウェア 1.7.0(.15)
- プリセットライブラリー 5.5(.1)
- ビデオチュートリアル 9.0 と更新版 PDF ドキュメント

互換性について特定のルールがあります。本書をよくお読みいただき説明にしたがってください。



ファームウェア、プリセットライブラリー、ビデオチュートリアルは LA NWM に同梱されています。
LA NWM をインストールすると、これらも自動でマウントされます。

パッケージの内容

Amplified_Controllers_May_2016b_release zip (Windows) と dmg (MAC OS) の構成は以下のとおりです。


README_RELEASE-PACK_EN_2016-05-20b.pdf	本書
LA Network Manager Installer 2.4.3.24.exe (in zip) LA Network Manager Installer 2.4.3.24.pkg (in dmg)	Windows 用 LA NWM とロードセンサーキャリブレーションツールのインストーラーファイル。 Mac OS 用の LA NWM インストーラーファイル
Load Sensor Calibration Tool (in dmg only)	Mac OS 用ロードセンサーキャリブレーションツール
PRESET-GUIDE_EN.pdf	英語版更新プリセットガイド
PRESET-GUIDE_FR.pdf	仏語版更新プリセットガイド
補足資料 (フォルダー)	
AIR-COMPENSATION_TB_EN_1.0.pdf	エアーコンペンセーションツール技術解説書英語版
AIR-COMPENSATION_TB_FR_1.0.pdf	エアーコンペンセーションツール技術解説書仏語版
ARRAY-MORPHING_WP_EN_2.1.pdf	アレーモーフィングツールホワイトペーパー英語版
ARRAY-MORPHING_WP_FR_2.1.pdf	アレーモーフィングツールホワイトペーパー仏語版
ENCLOSURE-CHECK_TB_EN.pdf	エンクロージャーチェック技術解説書英語版
ENCLOSURE-CHECK_TB_FR.pdf	エンクロージャーチェック技術解説書仏語版
LA4_UM_EN_10.0.pdf	LA4 ユーザーマニュアル英語版
LA4_UM_FR_10.0.pdf	LA4 ユーザーマニュアル仏語版
LA4X_UM_EN.pdf	更新版 LA4X ユーザーマニュアル英語版
LA4X_UM_FR.pdf	更新版 LA4X ユーザーマニュアル仏語版
LA8_UM_EN.pdf	更新版 LA8 ユーザーマニュアル英語版
LA8_UM_FR.pdf	更新版 LA8 ユーザーマニュアル仏語版
LA12X_UM_EN.pdf	LA12X ユーザーマニュアル
LA-NWM_FW_COMPATIBILITY_ISSUES_TB_ML.pdf	新しい LA NWM とファームウェアの互換性に関する技術解説書
LOAD-SENSOR-CALIBRATION-TOOL_TB_EN.pdf	ロードセンサーキャリブレーションツール技術解説書英語版
LOAD-SENSOR-CALIBRATION-TOOL_TB_FR.pdf	ロードセンサーキャリブレーションツール技術解説書仏語版
SETTINGS-PROTECTION_TB_EN.pdf	セッティングプロテクション技術解説書英語版
SETTINGS-PROTECTION_TB_FR.pdf	セッティングプロテクション技術解説書仏語版

新たな機能

LA Network Manager

LA NWM 2.4.3(.24) に以下の新たな機能を搭載しました。

全般

- LA12X に対応しました。プリセットバージョンは 5.4 以降となります。
 LA NWM 2.4.2.12 で作成したカスタムプリセットは、LA12X との互換性をもたせるために必ず LA NWM 2.4.3.24 で作り直してください。
- ビデオチュートリアルを 9.0 に更新しました。詳細は Video tutorial (P.2) を参照してください。

セットアップページ

- ユニットコントロールバーのデフォルトユニットタイプを LA8 から LA12X に変更しました。
- プリセットライブラリー 5.5(.1)を搭載しました。詳細は Preset library (P.2)を参照してください。

チューニングページ

- グループコントロールパネル : X8・X12・X15 HiQ モニタープリセットに対して LF Contour フィルターを設定できます。

ファームウェア

LA4/LA8 のファームウェア 2.7.0(.15) と LA4X/LA12X のファームウェア 1.7.0(.15) に以下の新たな機能を搭載しました。

- RESET TO FACTORY DEFAULT SETTINGS 機能から IP アドレスを除外しました。
- AES/EBU 入力モード :
 - パリティビットエラーを検知するとフロントパネル INPUT MODE ページに“AES/EBU INVALID”を表示します。
 - ユニットがスタンバイ時にはフォールバックを無効にします。(信号ステータスのエラーレポートは動作し続けます。)
 - ロックステータスの判定基準を「1 秒以上の安定」から「500ms 以上の安定」に変更しました。
- プリセットライブラリー5.5(.1)。詳細は Preset library (P.2)を参照してください。

詳細は LA4, LA4X, LA8, LA12X のユーザーマニュアルを参照してください。(ユーザーマニュアルはダウンロードファイルに含まれています。)

プリセットライブラリー

プリセットライブラリー 5.5(.1) に以下の新たな機能を搭載しました。

- KS28 サブウーハーに対応しました。[KS28_60]、[KS28_60C]、[KS28_100]、[KS28_100_C]

詳細は**プリセットガイド**を参照してください。(プリセットガイドはダウンロードファイルに含まれています。)

ビデオチュートリアル

ビデオチュートリアル 9.0 に以下の新たな機能を搭載しました。

- LA NWM 2.4.3(.24)にあわせて内容を変更しました。



Adobe® Flash® Player

ビデオチュートリアルをご覧いただくには Adobe® Flash® Player が必要です。

get.adobe.com/flashplayer からインストールしてください。

Adobe および Flash は、米国および/またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

修正した問題

LA Network Manager

以下の問題を LA Network Manager 2.4.3(.24) で修正しました。

ID	要約
セットアップ・チューニング・ライブページ共通	
6577	NWM を使用中に zip の解凍を行ったり、Windows Explore を開いたり、MS Office を使用すると NWM がクラッシュするケースがある。(非常にまれに、ランダムに発生)
6614	数値キーボードを表示させたままページやタブを変更すると LA NWM がクラッシュするケースがある。
L2-2084	ユニットシンク口時のクイックフェードアウト/フェードイン。例：接続が切れたユニットの接続復帰、オンラインモードへの切り替え、新しいセッションファイル・新しいプリセットのロード、コンフリクトの除去。
セットアップページ	
	LA NWM 2.4.2.12 からファームウェア 1.x の LA4/LA8 をアップデートできない。
チューニングページ	
6581	グループをクリック保持するとチャンネルセットが部分的に消去して表示される。

既知の問題

LA Network Manager

LA NWM 2.4.3(.24)には以下の既知の問題と制限事項があります。

ID	要約
セットアップ・チューニング・ライブページ共通	
1132	Windows XP または 7 のリモートデスクトップを使用時に、その接続が切れると NWM と全てのユニット間の接続が切断されます。 回避策：Windows 8 または 8.1 を用いるか、VNC・TightVNC・Team Viewer などのアプリケーションを用いてください。
1704	ファイル名にユニコード以外の文字を用いてファイルを保存した場合、その後にリストアセッションを実行すると、空のセッションファイルが開きます。
1983	L-NET ネットワーク上に同一のサブネットに設定した NIC を複数接続しないでください。
セットアップページ	
357	ユニットマッチャー上で複数のバーチャルユニットの IP アドレスをまとめて変更する場合、移動元と移動先のセルが重複していると移動ができません。
3574	スタンバイユニットが PIN プロテクションを表示しない。
5515	ファクトリープリセットが選ばれているユニットをファームウェアアップデート：好ましいユーザープリセットメモリーへの振り分けは考慮されません。
6579	ユニットマッチャーからの IP アドレス変更が正常に適用されないケースがある。
6600	音が出ている状態で「ユーザーパラメーターを保持しながらプリセットをロード」するとノイズが発生するケースがある。

VNC は RealVNC リミテッドの商標であり、欧州連合、アメリカ合衆国およびその他の国における商標出願および/または商標登録で保護されています。


TeamViewer は、TeamViewer GmbH の登録商標です。

ファームウェア

LA4/LA8 ファームウェア 2.7.0(.15)と LA4X/LA12X ファームウェア 1.7.0(.15)には、以下の問題と制限事項があります。

ID	要約
1694	高いレベルの信号を入力すると、信号の入力を止めても SIGNAL LED が点灯しつづけるケースがあります。
3639	スタンバイ移行時に AES/EBU 信号リンクが切れます。
F-570	LA4X/LA12X : 入力 AB のモードをアナログから AES/EBU に切り替えると自動フォールバックが作動します。(有効にしている場合) これは「コネクタの共用」と「AES 信号の安定度判定時間が 500ms」であるためです。

動作環境

- システム :
 - Windows 7 から Windows 10
 - Mac OS X 10.9 から 10.11
-  **LA NWM は最新版の Windows で動作します。**
Microsoft アップデートを実施してください。
- 画面解像度 : 最少 1024 x 768
- RAM : 1 GB 以上
- プロセッシングスピード : 1 GHz 以上

Microsoft, windows, Windows 7, Windows8, Windows 8.1, Windows 10 は Microsoft Corporation の登録商標です。

Mac と OS X はアメリカ合衆国およびその他の国における Apple Inc.,の商標です。

LA Network Manager 2.4.3(.24) へのアップデート



ファームウェアアップデートを実施するとアンプリファイドコントローラー内に保存されているすべてのユーザープリセットと、すべてのセッションパラメーターが消去されます。

必要に応じて、手順 2 (6 ページ) と手順 6 (6 ページ) により、データを保存してください。

手順

1. これまで使っていたバージョンの LA NWM を起動する。
2. 必要に応じて、以下の手順でカレントのセッションファイルとユーザープリセットを保存します。
 - A) ネットワーク上からセッションファイルを取得 (リストアセッション) し、ファイルとして保存。
 - B) すべてのフィジカルユニットからユーザープリセット (01~10) をファイルとして保存。
 これら保存したファイルはアップデート完了後にロードできます。(LA NWM 1 で作られた.preset と.system は除く。詳細は Recommendations をご確認ください。)
3. すべてのユニットを「ユーザープリセット領域 (メモリー番号 01~10 まで) がロードされた状態」にする。
4. LA NWM 2.4.3(.24)をインストールする。



Mac OS X へのインストール

ルートパスワードが必要です。

インストール終了後にコンピューターが再起動します。

.dmg ファイルをダブルクリックしてマウントしてください。

- A) Windows の場合は **LA Network Manager Installer 2.4.3.24.exe** を、Mac OS X の場合は **LA Network Manager Installer 2.4.3.24.pkg** をダブルクリックしてください。
 - B) ウィザードの指示にしたがってください。
5. すべてのユニットのファームウェアをアップデートする：



ファームウェアアップデートを短時間で確実に実行するための推奨事項

フィジカルユニットへの接続は有線を用いてください。(WiFi を用いない)

ファームウェアアップデートが失敗したユニットは：ユニットの再起動 (電源 OFF→ON) と LA NWM の再起動 (終了→起動) を行い、当該のユニットに前述の手順を再び実行してください。



ファームウェア 1.x の LA4/LA8 をファームウェアアップデートする場合

ファームウェアバージョン 1.x の LA4/LA8 のバージョンアップは 2 段階のステップとなります。最初のステップでユニットのファームウェアが自動的にバージョン 2.1.3.3 へアップデートされます。次のステップとして、もう一度同じ手順を実行し、最新版のファームウェアへアップデートしてください。

- A) LA NWM 2.4.3(.24)を起動し、オンラインモードにします。
 - B) 検出したフィジカルユニットをワークスペース上へ配します。(Add Units)
 - C) アップデートするユニットを選びます。
 - D) 画面左上隅の L-acoustics ロゴをクリックし、**Firmware Updater** をクリックします。
 - E) **Update Firmware** をクリックします。

このアップデートは「ファームウェア」と「ユニットに保存されているファクトリープリセット」の両方に作用します。詳細はビデオチュートリアル **Updating Units Firmware** を参照してください。
6. 必要に応じて保存しておいたファイルをロードします。
- A) **Preset Loader** の画面から、手順 2 (6 ページ) で保存したユーザープリセットファイルをドラッグアンドドロップですべてのフィジカルユニットの適切なユーザープリセットメモリーに保存します。
 - B) 手順 2 (6 ページ) で保存したセッションファイルを開くと、すべての設定が自動で新しいフォーマットに変換されます。セッションファイルにバージョン 1.x または 2.x のプリセットが含まれていると、LA NWM は警告メッセージを発し、当該ユニットの IP アドレスの背景をオレンジ色で表示します。

これら警告が発せられているプリセットは、バージョン 3.x 以降の適切なプリセットに**必ず**置き換え (リロード) てください。

ファームウェアバージョンのダウングレード



LA4/LA8 ファームウェア 1.5.1.4 へのダウングレードパッケージ (Windows のみ)

ファームウェアが 2.x 未満のシステムへユニットをレンタルするケースなどでは、LA4/LA8 のファームウェアを 1.5.1.4 へダウングレードします。

この場合、www.l-acoustics.com (Archives) から **FIRMWARE_downgrade_pakc_1.5.1.4.zip** をダウンロードし、**FIRMWARE-DOWNGRADE_TB_ML_1.5.1.4a.pdf** ファイルの説明にしたがって作業を行ってください。



LA4/ LA8 ファームウェア 2.x へのダウングレード (Windows のみ)

ファームウェアバージョン 2.x へ LA4/LA8 をダウングレードするは、Updating to LA Network Manager 2.4.3(.24)の手順で行います。手順 5.d において、適切なバージョンの LA NWM インストールディレクトリー内にある **Firmware** フォルダからファームウェアパッケージを選びます。(詳細はバージョン履歴のセクションを参照してください。)

推奨事項

LA Network Manager

LA NWM をご使用いただくにあたり、以下の推奨事項をご確認ください。

ファームウェアバージョン

- すべての LA4/LA8 ユニットが同じバージョンのファームウェアであることを確認してください。
- すべての LA4X/LA12X ユニットが同じバージョンのファームウェアであることを確認してください。
- LA4/LA8 のファームウェアは 2.7.0 以上とします。
- LA4X/LA12X のファームウェアは 1.7.0 以上とします。

ネットワークのセットアップ

- Ethernet デイジーチェーン接続を用いる場合、LA4X/LA12X の下流に LA4/LA8 を接続してください。
- LA NWM のネットワークに接続するコンピューターは **1 台のみ**とします。(複数のコンピューターを同時接続しないでください。)
- LA NWM が動作しているコンピューターとユニット間には有線接続してください。WiFi 接続よりも安定して動作します。
- ユニットとの接続が頻繁に切れるケースでは、LA NWM の **Options** から接続を **Slow** モードに切り替えてください。
- 1 台のコンピューターから WiFi と有線を同時に LA NWM のネットワークに接続すると、ユニット検出に障害が発生する可能性があります。Windows のコントロールパネルにある「ネットワークと共有センター」から、どちらかを無効化してください。
- Windows 8 未満に搭載されているウィンドウズ リモートデスクトップ機能は使用しないでください。Windows 8 未満でリモートを行う場合には、VNC、TightVNC、Team Viewer などのアプリケーションをお使いください。
- L-acoustics ユニットのモニタリングやコントロールは専用ネットワークを用いてください。他のデバイスとネットワークを共有する場合、コミュニケーション コンフリクトを避けるために、L-acoustics ユニットに割り当てた IP アドレスとは異なるアドレスを他のデバイスに割り当ててください。

セッションファイルをロード中にユニットとの接続が切れた場合

セッションファイルをロード中にユニットとの接続が切れたことを**メッセージセンター**が示した場合、セッションファイをもう一度ロードしてください。

ユニコード以外の文字

セッションファイル名はユニコード文字を用いてください。(日本語は用いないでください。)

カスタムプリセットの互換性

- LA NWM 2.4.3(.24)で作成したカスタムプリセットは、以前のバージョンの LA NWM では使用できません。
- プリセットバージョン 1.x または 2.x で作成したカスタムプリセットは、LA NWM 2.4.3(.24)を用いてプリセットバージョン 3.x 以上で必ず作りなおしてください。

セッションファイルの互換性

- LA NWM 1 で作られた .system ファイルは、このバージョンの LA NWM では開けません。新しくセッションファイルを作り直してください。
- LA NWM 2 で作られた .lses または .nwsys ファイルは LA NWM 2.4 で開けます。これらのファイルに 1.x または 2.x のプリセットが含まれている場合、当該プリセットをバージョン 3.x またはそれ以上に**必ず**置き換えてください
- LA NWM 2.4.3(.24)で作ったセッションファイル (.lses) は、以前のバージョンの LA NWM では使用できません。

プリセットの互換性

- LA12X にはバージョン 5.4 以上のプリセットを用いてください。
- プリセットバージョン 1.x または 2.x で作られたプリセットは、LA NWM 2.4.3(.24)を用いてプリセットバージョン 3.x 以上に**必ず**置き換えてください。
- プリセットライブラリーのバージョンが 4.x 以降の[K1][KARADOWNK1][K2_xx]プリセットは、プリセットライブラリーバージョン 4.0 未満の[K1][KARADOWNK1]プリセットとの互換性がありません。
- LA8 用プリセットライブラリーバージョン 4.0 未満の KARA、ARCS II、KUDO プリセットは、LA4X に対する互換性がありません。



互換性に関する問題は、古いプリセットを使っているユニットが含まれたセッションファイルを利用する際に発生します。当該ユニットのプリセットを LA NWM に搭載されているプリセットライブラリーで置き換え、セッションファイルを更新してください。

ダウンロードした.zip または.dmg ファイル内の **Presets Guide** にて詳細な情報をご確認ください。

ダウンロードした.zip ファイル内の **LA NWM and firmware compatibility issue technical bulletin** にて詳細な情報をご確認ください。

ビデオチュートリアル



Adobe®Flash®Player

ビデオチュートリアルをご覧いただくには Adobe®Flash®Player が必要です。

get.adobe.com/flashplayer からインストールしてください。

1. LA NWM の画面左上隅にある L-Acoustics のロゴをクリックしメニューを開きます。
2. Help をクリックします。



バージョン履歴

LA NETWORK MANAGER

2016 年 5 月 LA NWM 2.4.3(.23)

- (a) - LA NWM 2.4.3(.24)に置き換えました。

2016 年 2 月 LA NWM 2.4.2(.12)

- Windows 10 と QS X El Capitan (10.11) に対応しました。
- X モデルの入カラーテイングに A+B+C+D を設けました。
- メッセージセンターを改善しました。
- 多くの改善とマイナーバグフィックスを施しました。

2015 年 10 月 LA NWM 2.4.0(.5)

- 多数のフィジカルユニットから同時に送信される大量のイベントメッセージに対するレポート機能改善しました。
 - GUI の反応を改善しました。
 - 最上位 IP アドレスからのレポートのみを OS の通知センターに通知します。
- 起動画面を新しいデザインに変更しました。
- スライダーを Firmware に合わせると、サポート対象外やファームウェアアップデートが必要なために黄色で表示されているユニットのファームウェアバージョン番号を表示します。
- ノッチフィルターをバイパス機能に含むように変更しました。
- プリセットライブラリー 5.3(.4)を搭載しました。

2015 年 6 月 LA NWM 2.3.0.0

- Mac OS X Mavericks (10.9) と Mac OS X Yosemite (10.10) に対応しました。LA NWM の操作は Windows と同一ですが、ショートカットと通知ルールに関しては通常の Mac OS X の動きとなります。
- プログラム起動時間の短縮、CPU 負荷の低減、IP アドレス変更の高速化、プログラム終了の高速化などを施した。
- 電圧と電流から負荷の状態を判定する「ロードセンサーキャリブレーションツール」を LA4X に搭載しました。
- エレメント操作時の視認性を上げるダークモードを取り入れました。
- X シリーズ用の低レイテンシーモニタープリセットに対応しました。
- 新たなエンジンによる改善を施しました。
- ヘルプ：インストール後に「開く」のプロンプトを表示、開いている画面から当該ヘルプへのショートカット、キーボードショートカットでのアクセスを採用しました。
- ビデオチュートリアルを 6.0 に更新し、構成を見直しました。
- ファームウェアアップデート時に発生していた Online - Offline - Online のステップを削除しました。
- レベルメーターを改善しました。
- 6 dB 以上のゲイン変更時に確認ウィンドウがポップアップするようになりました。
- IIR タイプのフィルターは、PEQ または Notch が選べるようになりました。
- LA4, LA4X, LA8 用のプリセットライブラリーを 5.1(.13)に更新しました。

2014 年 6 月 LA NWM 2.2.1.0

- 高解像度画面に自動で画面を最適化する機能を搭載しました。
- マルチタッチスクリーンに対応しました。
- メジャー/クリティカルな通知を Windows のタスクバーに表示します。
- ファームウェアアップデートの時間を短縮しました。
- プリセット変更時に可能な限りユーザーパラメーターを保持します。
- LA NWM1 ファイル (.system と.preset) をサポート対象外としました。
- LA4, LA4X, LA8 のプリセットライブラリーのバージョンを 4.2 に更新しました。

2013年12月 LA NWM 2.2.0.0

- LA4Xに対応しました。
- 全てのユニットタイプでチャンネルセット単位のグルーピングに対応しました。
- フォールバックモード：全てのユニットを1クリックでAES/EBUに戻せる機能を搭載しました。
- 固定設備向けにセッティングプロテクション機能を搭載しました。
- IIR EQのゲイン値が-24dBまで対応しました。
- 新しくエアーコンペンセーションEQツールを設けました。
- LA4, LA4X, LA8のプリセットライブラリーのバージョンを4.0に更新しました。

2013年3月 LA NWM 2.1.0.1

- Windows 8との互換性を持たせました。
- パラメーターが出力側に限定された新しいプリセット形式を採用しました。L-ACOUSTICSの内部パラメーターは表示しません。
- プリセットバンクのロードとユニット検出の速度が向上した新しいネットワークエンジン(L-COM)を採用しました。
- ズームファクターのパラメーターを変更しました。(分解能を細かく・レンジを拡張) IIR EQを8コに増やしました。
- LA4とLA8用の新たなプリセットライブラリー(3.0)を搭載しました。

2012年9月 LA NWM 2.0.2.5

- LA4, LA8用プリセットライブラリー2.5

2012年7月 LA NWM 2.0.2.0

- メッセージセンターウィンドウで"Acknowledge All"(全てを承認)をクリックした場合に、メッセージの表示とログファイルへの記録するように変更しました。
- プリセットローダーを改良しました。
- チューニングページを改良しました。
- ビデオチュートリアルを2.0.2.0aに更新しました。

2012年6月 LA NWM 2.0.1.0

- 大規模システムへの最適化を図りました。
- ワークスペースを改良しました。
- プリセットローダーを改良しました。
- インプットモードセレクターを改良しました。
- ビデオチュートリアルを2.0.1.0aに更新しました。

2012年3月 LA NWM 2.0.0.0

- 実際の機器配置に基づくようにユニットやグループをワークスペース上に配置し、タブレットPCによるグラフィカルな操作にアプリケーションを最適化しました。
- セットアップ・チューニング・ライブという専用ページを配置し、ワークフローをステップ化しました。
- ネットワーク上のユニットを自動検出する、全く新しいネットワークエンジンを搭載しました。
- 複数のグループにユニットをアサインできる機能を持った、新しい「セッションファイル」のフォーマットを採用しました。
- ユニットマッチャー・プリセットローダー・カスタムプリセットビルダー・プリセットバンクビルダー・ファームウェアアップデートなどのツールを搭載しました。
- 「ログの自動保存機能を持ったメッセージセンター」「モニタリング機能の強化」「IIRタイプのPEQを2コ増加」「LA-AES3 AES/EBUカードのマネージメント」などの新機能を搭載しました。
- ビデオチュートリアルを導入しました。(2.0.0.0a)

2009年8月 LA NWM 1.2.0.102

- 新たなLFパワーマネージメントシステム(アタックシグナルに対して最大限の電力を供給しながら、長時間平均シグナルに対する保護を最適化)によりLFのヘッドルームが1.5dB拡張しました。
- ユニットの再起動せずにIPアドレスの変更が可能になりました。

2007年10月 LA NWM 1.1.0.45**ファームウェア****2016年2月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.6.0(.14) & LA4X FIRMWARE 1.6.0(.14)**

- 新たにSNMPエージェントとしてPA-VAをトラップとゲットに対応。
- 新たなエラーメッセージ区分としてUnit service requiredを追加。
- AES/EBU入力モニタリングを改善：
 - ロックステータス判定基準を「1秒以上安定した接続」とします。
 - スタンバイモードのユニット：全ユニットタイプで信号監視とステータスレポートが同一動作します。
- プリセットライブラリー 5.4(.8)

- 2015 年 12 月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.5.1(.1) & LA4X FIRMWARE 1.5.0(.7)**
- LA4/LA8 のファームウェアに「リセット後にブルースクリーン発生」の対策
- 2015 年 10 月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.5.0(.7) & LA4X FIRMWARE 1.5.0(.7)**
- 新しい L-DRIVE アルゴリズム
 - プリセットライブラリー 5.3(.4)
- 2015 年 6 月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.3.0(.23) & LA4X FIRMWARE 1.2.0(.29)**
- パラメーターの破損を避けるために以前のバージョンの LA NWM との互換性を無くしました。
 - MONITORING & INFO メニューに新たな ENCLOSURE CHECK 機能を設けました。(LA4X のみ)
 - L-DRIVE スピーカー保護のアルゴリズムを改善しました。(関連のあるプリセットに関して)
 - LA4X のリミッター動作表示をフロントパネル、LA NWM とともに改善しました。
 - Fuse Protection エラーの検出を改善しました。
 - Clip 検出のアルゴリズムを改善しました。
 - ファームウェアバージョンを小数点以下第 3 位で表示し、エンコーダーホイールを押すことで 4 位の値とピルト日を確認できるようにしました。
 - フォールバックから AES/EBU に戻した際にクイックフェードインするようにしました。
 - MONITORING & INFO メニューに新たに HARDWARE INFO を設けました。(LA4X のみ)
 - X シリーズモニター用に低レイテンシーモードを設けました。
 - 低レイテンシーモード時にメインスクリーンに低レイテンシーシンボルを表示するようにしました。
 - LA4, LA4X ,LA8 用のプリセットライブラリーを 5.1(.13)に更新しました。
- 2014 年 6 月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.1.3.3 & LA4X FIRMWARE 1.0.3.3**
- 非互換バージョンのソフトとの接続時に表示されるエラーメッセージを変更しました。
 - カレントプリセットが 001~010 の場合、ストアプリセットの宛先としてカレント番号を選びます。
 - IP アドレスの表示レイアウトを最適化しました。
 - LA4・LA4X・LA8 プリセットライブラリー4.2
- 2013 年 12 月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.1.2.0 & LA4X FIRMWARE 1.0.2.0**
- メインメニューのアップデート
 - フォールバックモードをシンプルにしました。
 - セッティングプロテクション機能を搭載しました。
 - LA4・LA4X・LA8 プリセットライブラリー4.0
- 2013 年 3 月 LA4/LA8 FIRMWARE 2.0.0.2**
- 電源投入後、9 秒で音が出ます。
 - ファームウェアアップデートの作業時間を短くしました。
 - LA8 はファームウェアアップデートにより、LA8 と LA4 どちらのプリセットもオンボード上に保持します。
 - アウトプットディレイ値をチャンネルあたり最大680ms まで拡張しました
 - プリセットパラメーターメニューからアウトプットチャンネルのルーティング (入力チャンネル選択) を変更できます。
 - プリセットライブラリー3.0
- 2012 年 9 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.5.1.4**
- LA4/LA8 プリセットライブラリー2.5
- 2012 年 6 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.5.1.3**
- インプットモードのリモート選択機能を強化しました。
 - LA4/LA8 プリセットライブラリー2.4
- 2011 年 10 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.5.1.2**
- LA NETWORK MANAGER 2 への対応を準備しました。
 - LA8 プリセットライブラリー2.3
- 2010 年 10 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.4.1.23**
- LA-AES3 AES/EBU インプットボードに対応しました。
 - IP アドレスを完全に任意の値に設定できるようにしました。
 - LA4/LA8 プリセットライブラリー2.2

2009 年 8 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.3.0.32

- ユニットの再起動せずに IP アドレスの変更が可能になりました。
- バッテリーによって保存されたパラメーターをフラッシュメモリーにバックアップする機能を搭載しました。
- (LA8 のみ) 新たな LF パワーマネージメントシステム (アタックシグナルに対して最大限の電力を供給しながら、長時間平均シグナルに対する保護を最適化) により LF のヘッドルームが 1.5dB 拡張しました。
- LA4/LA8 プリセットライブラリー2.0

2008 年 4 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.2.4.0

- LA4 プリセットライブラリー1.3 と LA8 プリセットライブラリー1.1

2007 年 10 月 LA4/LA8 FIRMWARE 1.2.1.0

- 最初のリリース版。
- LA4 プリセットライブラリー1.2 と LA8 プリセットライブラリー1.0

プリセットライブラリー**2016 年 2 月 LA4, LA4X and LA8 PRESET LIBRARIES 5.4(.8)**

- L-DRIVE の過電圧に対するパラメーターを最適化しました。

2015 年 10 月 LA4, LA4X and LA8 PRESET LIBRARIES 5.3(.4)

- X シリーズ用プリセット (モニター用の低レイテンシープリセットを含めて合計 6 コのプリセット) を追加しました。
- K1, K2, KARA, ARCS II に関するすべてのプリセット: 高域セクションの耐性改善を目的として L-DRIVE の設定をアップデートしました。
- 8XT に関するすべてのプリセット: 低域セクションの耐性改善を目的として L-DRIVE の設定をアップデートしました。

2015 年 6 月 LA4, LA4X and LA8 PRESET LIBRARIES 5.1(.13)

- バージョンナンバーに小数点以下第 3 位を追加し、エンコーダーホイールを押すことで値を確認できるようにしました。
- [K2_70]プリセット: 水平方向のボーラーレスポンスを改善しました。
- [K1-SB_X K2]プリセット: ゲインを 1 dB 上げました。(K1-SB を K2 のスローアプリケーションで用いる際にゲイン変更は不要です。)
- [12XT]プリセット: オーバーエクスカッションに対する保護を最適化しました。
- 全てのサブウーハープリセットのデフォルトルーティングを IN A に変更しました。
- [KIVA_SB15]と[KIVA_KILO]プリセットを LA4X のプリセットライブラリーに追加しました。

2014 年 6 月 LA4, LA4X and LA8 PRESET LIBRARIES 4.2

- [ARCS_II] [K1SB_X K2] [5XT]のプリセットを改良しました。

2013 年 12 月 LA4, LA4X and LA8 PRESET LIBRARIES 4.0

- 新しいプリセットとして[K2 70] [K2 90] [K2 110] [K1SB_X K2]を導入しました。
- LA4 プリセットの互換性確保と、LA4X 用 KARA・ARCS II・K2・KUDO プリセット。
- [K1]と[KARADOWNK1]プリセットを改良しました。

2013 年 3 月 LA4 and LA8 PRESET LIBRARIES 3.0

- LA4 の SUB プリセットとして [KILO] [SB15_100] [SB15_100C] を導入しました。
- LA4 のプリセットとして、ハイブリットプリセット [KIVA_SB15] と、同軸プリセット [5XT] を導入しました。
- [KIVA_KILO_60] プリセットを削除しました。

2012 年 9 月 LA4 and LA8 PRESET LIBRARIES 2.5

- ARCS WIDE と ARCS FOCUS を LA4 または LA8 でドライブするためのプリセット [ARCS WIFO] と [ARCS WIFO_FI] を導入しました。

2012 年 6 月 LA4 and LA8 PRESET LIBRARIES 2.4

- [KARA] と [12XT Active] のプリセットに対する L-DRIVE 設定を最適化しました。
- [ARCS_S118_LO/HI] と [112b_SB118] のハイブリットプリセットに対するプリアライメントディレイ値を変更しました。
- サードパーティー製品をドライブするために[FLAT_LA4][FLAT_LA8]プリセットを導入しました。

2011 年 10 月 LA8 PRESET LIBRARY 2.3

- ARCS II (定曲率 WST ラインソース) のプリセットを導入しました。

2010 年 10 月 LA4 and LA8 PRESET LIBRARIES 2.2

- KARA (モジュラーWST ラインソース) のプリセットを 3 種類導入しました。
- SB18 (コンパクトハイパワーサブウーハー) のプリセットを 4 種類導入しました。
- 115XT HiQ のモニター向けプリセットを最適化しました。(LF のインパクトを強化: ボーカル帯域である MF を重要視: フィードバックの発生を抑制したより一貫性の高いスペクトルバランス)
- dV-DOSC を V-DOSC のダウンフィルとして用いた場合のアライメントディレイ値を変更しました。
- 2 ウェイ可変曲率 WST ラインソース (dV-DOSC と KARA) のプリセットについて、出力チャンネルルーティングを「入力チャンネル A」に変更しました。FI プリセットは変更していません。

2009 年 8 月 LA4/LA8 PRESET LIBRARIES 2.0

- XT モニタープリセットを新しくしました。(セッティングを強化し、12XT LF ゲインのロックを外しました。)
- LA4 プリセットライブラリーユーザーマニュアルに XT と SUB を組み合わせて使用する場合のプリアライメントディレイ値を掲載しました。
- K1/K1-SUB (リファレンス WST ラインソース) のプリセットを 3 種類導入しました。
- (LA8 のみ) ARCS (定曲率 WST ラインソース) のプリセットを 6 種類導入しました。
- 115XT HiQ に関する全てのプリセットについて、プリアライメントディレイ値を変更しました。
- 115XT HiQ のモニタープリセット 2 種類を改良しました。(セッティングを強化し、LF ゲインのロックを外しました。)

2008 年 4 月 LA4 PRESET LIBRARY 1.3 / LA8 PRESET LIBRARY 1.1

- 新たな[KIVA]プリセット: MF と HF の周波数特性を空間的な平均値に基づいて改良: KIVA/KILO のクロスオーバーとタイムアライメントを、LF での高インパクトを持つパワーレスポンス得られるように修正: KIVA/KILO の出力ゲインスケールリングを、よりフラットなシステムレスポンスを得られるように修正: 標準的な KIVA アレイに合わせてトーンバランスを最適化: システムの適応性を高めるために[KIVA] [KIVA_KILO] [KIVA_KILO_60]プリセットの KIVA に関するフィルタリングを同一に設定:
- HiQ プリセットを LA8 プリセットライブラリーに移行しました。
- すべての KUDO プリセットを変更しました。(Hi-Mid と Hi の空間的なレスポンスの改良: Low-Mid と Mid の周波数レスポンスの改良: LF コンターを自遊空間と屋内での使用に対して適合化)
- [SB118_60...]に関するプリセットのアウトプットゲインを 9dB に設定しました。
- [SB118_100...]に関するプリセットのアウトプットゲインを 6dB に設定しました。

2007 年 10 月 LA4 PRESET LIBRARY 1.2 / LA8 PRESET LIBRARY 1.

- 最初のリリース。

ビデオチュートリアル**2016 年 2 月 VIDEO TUTORIAL 8.0**

- LA NWM 2.4.2(.12)に合わせて内容を変更しました。
- 4 つの PDF モジュールを HTML のように開けるようにしました。

2015 年 10 月 VIDEO TUTORIAL 7.0

- LA NWM 2.4.0(.5) に合わせて内容を変更しました。

2015 年 6 月 VIDEO TUTORIAL 6.0

- LA NWM 2.3.0.0 に合わせて内容を変更しました。
- 構成を見直しました。

2014 年 6 月 VIDEO TUTORIAL 5.0

- LA NWM 2.2.1.0 に合わせて内容を変更しました。

2013 年 12 月 VIDEO TUTORIAL 4.0

- LA NWM 2.2.0.0 に合わせて内容を変更しました。

2013 年 3 月 VIDEO TUTORIAL 3.0

- LA NWM 2.1.0.0 に合わせて内容を変更しました。
- Windows 8 に対応しました。

2012 年 7 月 VIDEO TUTORIAL 2.0.2.0a

- 用語集を更新しました。

2012 年 6 月**VIDEO TUTORIAL 2.0.1.0a**

- 全てのモジュールの準備が整いました。
- ブラウザーのウィンドウ内における自動スケーリング機能を搭載しました。(フルスクリーンモード時を含む)
- キーボードショートカットの機能を向上しました。: (再生バーから到達できない) 別のスライドに切り替えた場合でも、再生/一時停止のステイタスを保持します。

2012 年 3 月**VIDEO TUTORIAL 2.0.0.0a**

- 最初のリリース。
- LA NWM 2.0.0.0 に同梱されています。
- LA NETWORK MANAGER 2 に関する全てのマニュアルは、モジュールごとに独立したビデオチュートリアル形式で提供します。この形式によりアクセス性と読みやすさを向上しています。